

平成30年3月12日

各都道府県連絡理事校長 様

全国商業高等学校長協会
公益財団法人全国商業高等学校協会
理事長 中山博之
(公印省略)

全国商業高等学校長協会
公益財団法人全国商業高等学校協会
調査・広報部長 梶寛治
(公印省略)

全国高等学校生徒商業研究発表大会審査基準等の変更について（通知）

平素より本協会の諸事業について、ご支援ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、平成30年2月3日（土）に行われました、公益財団法人全国商業高等学校協会評議員会におきまして、標記研究発表大会の審査基準が変更されましたので、ご通知いたします。

また、平成30年度より大会本番を1日開催とするため、発表間の入れ替え時間を短縮するため、別添資料のように入退場を変更いたします。

つきましては、ご多用の中大変恐縮ではございますが、貴管下会員校へ下記内容をご周知いただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

記

同封物

- 1 全国高等学校生徒商業研究発表大会 審査基準の変更
- 2 全国高等学校生徒商業研究発表大会 発表時の入退場について

連絡先	全国商業高等学校長協会 〒160-0015 東京都新宿区大京町 26 TEL 03(3357)7911 FAX 03(3341)1039 担当 山崎 宏 今田和佳
-----	---

全国高等学校生徒商業研究発表大会審査基準の変更

1 改正日 平成 30 年 2 月 3 日

2 改正点

改正前

4 発表時間

発表者による「発表を始めます」の台詞終了時から「発表を終わります」の台詞終了時までを計測するものとする。発表時間は 1 2 分とし、時間を超過した場合は以下の基準により総合得点から減点する。

改正後

司会者による「それでは発表を始めてください」の台詞終了時から発表者による「発表を終わります」の台詞終了時までを計測するものとする。発表時間は 1 2 分とし、時間を超過した場合は以下の基準により総合得点から減点する。

3 改正の理由

計測開始の合図を発表者が忘れた場合、計測不能となる。そのような事態を防ぐため。

4 この審査基準は平成 30 年度第 26 回大会より適用する。

全国高等学校生徒商業研究発表大会
審査基準

1 審査対象

- (1) 本大会の予選会として位置づけられた都道府県大会（都道府県大会を実施していない場合は、ブロック大会）における研究発表内容およびそれ以降の研究内容とする。
 (2) 過去の本大会（全国大会）において未発表のものとする。

2 審査観点

- (1) 研究報告書に記載されている研究内容をとおして、生徒の問題解決能力や創作的研究の成果について審査する。
 (2) 研究成果の発表をとおして、生徒のプレゼンテーション能力や「伝える力」について審査する。

3 審査配点および審査項目

総合得点を100点とし、各項目での得点および観点は以下の表のとおりとする。なお、「研究内容」および「研究報告書の完成度」については事前に審査を行い、当日の発表内容をふまえ必要に応じて得点を修正する。

研究内容	50点	10点	ア テーマ性および構成 (ア) 商業に関する研究として相応しいか (イ) 研究として論理的に構成されているか (仮説→企画→実践→検証→課題)
		20点	イ 研究の着眼点 (ア) 現状把握を前提として仮説の問題提起がなされているか (イ) 現状分析・仮説に基づき企画を検討しているか (ウ) 実践の検証が十分になされているか (エ) 検証に基づいた提言や展望が打ち出されているか
		20点	ウ 研究の取組内容及び成果 (ア) 研究の取組に工夫がなされているか (アンケート・実施調査・取材活動・作品制作・実験など) (イ) 研究を通してどのような成果を学びとったか (研究の成功・失敗にかかわらず具体的な記載がある)
研究報告書の完成度	10点	ア 報告書内の文章表現や編集は適切であるか イ 資料提示に工夫がなされているか	
研究発表	30点	10点	ア 発表上の態度 (ア) 説明の状態（発表態度・進行など）は良好であるか (イ) 機器の取り扱い（操作・トラブル対応など）は適切であるか
		10点	イ 資料の提示 (ア) 研究内容を説明するのに十分な画面構成（分量含）であるか (イ) 研究内容を説明するのに十分な内容（呈示方法含）であるか
		10点	ウ 資料の説明 (ア) 発表内容は聞き取りやすく、分かりやすいか (イ) 研究内容の説明としての説得力があるか
総合評価	10点	※研究報告書と研究発表の内容を踏まえ、研究の完成度や独創的、創意工夫などを総合的に評価に加点する ア 研究報告書（内容）に関する加点 イ 研究発表（説明）に対する加点	

4 発表時間

司会者による「それでは発表を始めてください」の台詞終了時から発表者による「発表を終わります」の台詞終了時までを計測するものとする。発表時間は12分とし、時間を超過した場合は以下の基準により総合得点から減点する。

超過時間	～10秒未満	10秒～	20秒～	30秒～	60秒～
減点	－5点	－10点	－15点	－20点	－30点

5 審査委員

全商協会調査・広報部長、副部長の2名および開催地委員3名（外部委員2名以上）を含む5名とする。

6 表彰

種類	校数	備考
最優秀賞	1校	「文部科学大臣賞」「産業教育振興中央会賞」をあわせて授与。
優秀賞	3校程度	審査委員の選考により、校数は年度によって増減があってもよい。
優良賞	上記以外	

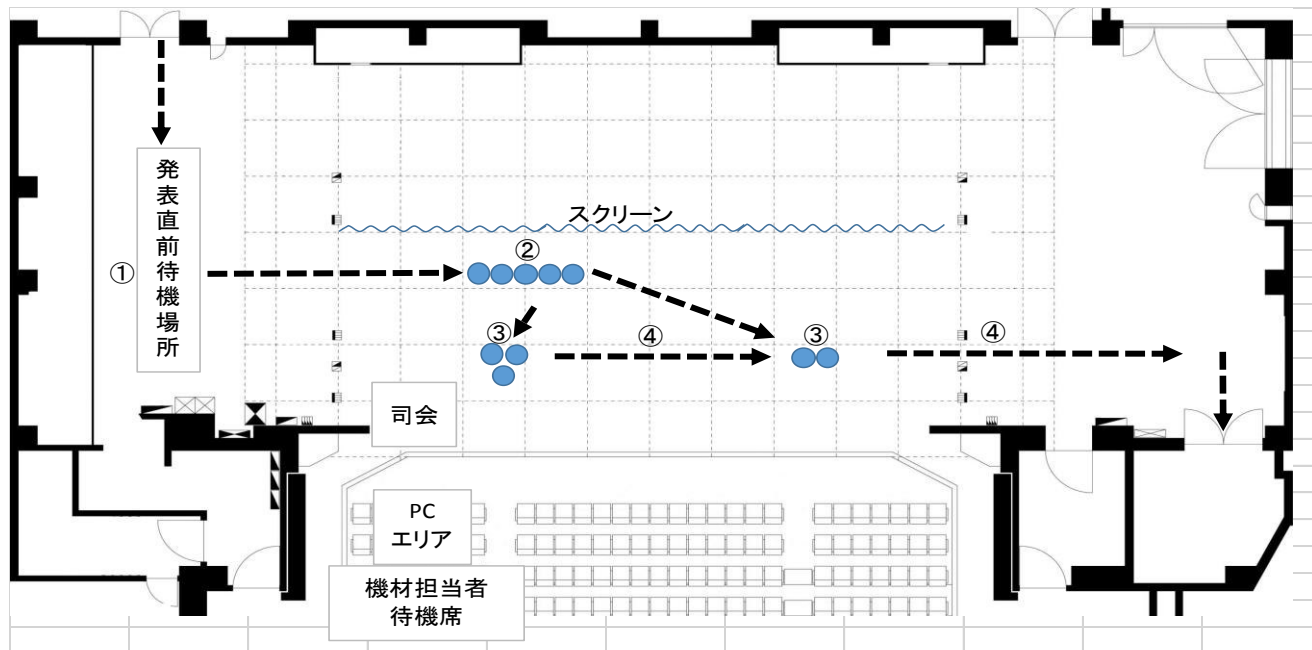
7 その他

(1) 研究報告書および発表におけるコンテンツ（画像・音楽・映像などの個々の情報）の使用に際しては、著作権に十分留意すること。

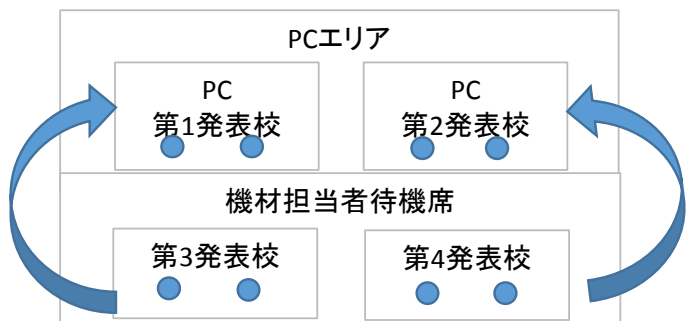
(2) この審査基準は、平成27年度、平成29年度及び平成30年度に一部文言の整理を行った。

全国高等学校生徒商業研究発表大会
発表時の入退場について

発表者壇上イメージ



PCエリアイメージ



退場

※機材担当者は、第4発表校まで、機材担当者待機席で待機。

※第1発表が終了後、第3発表校は速やかに準備。
この間に第5発表校は機材担当者待機席に移動。
(以後順番に移動)

	司会	発表者	機械担当者
1	4つ前発表終了後		・集合場所へ集合する。
2	3つ前発表終了後	・2つ前発表控室へ移動する。 ・1つ前発表控室へ移動する。	・機材担当者待機席へ移動する。 ・機材担当者待機席に待機する。
3	2つ前発表終了後	・発表直前待機場所に移動する。	・PCエリアへ移動する。 ・PCの接続等、発表準備する。
4	1つ前発表中	・発表直前待機場所で待機する。 (①の位置)	・PCエリアで待機する。
5	一つ前発表終了後	・司会の指示で発表者は②の位置へ整列(以下、パフォーマンス等は禁止)する。	・司会の指示でその場で客席に向かって起立する。
6	準備完了(整列済)	・司会の指示で「礼」する。 ・挨拶後速やかに、発表位置③へ移動する。 ・準備完了を司会に合図(右手を挙げる)する。	・司会の指示で「礼」 ・挨拶後速やかに、PC準備(最初の画面を表示)をする。 ・画面表示を準備完了の合図とする。
7	発表開始	開始指示(発表者の挙手を確認後) ・「発表を始めてください」とアナウンスする。	・司会者からのアナウンス「発表を始めてください」で発表開始する。
8	発表終了	・発表終了時「以上で発表を終わります」とアナウンス(最終発表者はその場に待機)する。	・操作終了後、その場で客席に向かって起立する。
9	退場指示	・終了指示 「ありがとうございました。ただいまの発表は〇〇高校でした。」に続けて、「礼」の号令を掛ける。	・司会の指示で「礼」をし、速やかにプレゼン画面をブラックアウトさせる。
10	発表終了	・発表者の退出を確認後、「ただいまの発表は〇分〇秒でした」とアナウンスする。 ・次の整列指示(繰り返す)をする。	・速やかにPC等を片づけ、所定の席に戻る。